

## 「ひょうご森のまつり 2018」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 神戸水源林整備事務所

「ひょうご森のまつり」は、県民総参加による森づくりを進めている兵庫県などの主催により、かけがえのない森林を次世代に引き継いでいくことを目的に毎年開催されています。今年は11月4日（日）に、『森とともに生きるひょうご ごこくの未来』～森を学ぼう！森を育てよう！森を伝えよう！～をテーマとして<sup>かんざきぐんふくさきちやう</sup>神崎郡福崎町で開催され、神戸水源林整備事務所も参加しました。

当日は、「第45回福崎秋祭り」も同時開催され、好天にも恵まれたことから、約5千人の来場者で大いに賑わいました。

野外ステージでは、緑化作品コンクールや林業労働功労者の表彰、緑の少年団の宣誓、森林ボランティア団体の活動報告、各種アトラクションが行われたほか、会場内には各団体により体験、展示、販売、飲食等約90のブースが設けられ、来場者は、思い思いに秋の一日を楽しんでいました。

当事務所のブースでは、パネル展示により水源林造成事業の仕組みや県内での事例等を紹介し事業のPRを行うとともに、木の漢字の読み方クイズ、ドングリや松ぼっくりを使った工作体験を行いました。

クイズでは、難問に頭をひねり、出題者からのヒントを頼りになんとか正解する方や、一方で、ほとんどスラスラと答えてしまう方など、大人子供を問わず幅広い年代の多くの方々に挑戦していただきました。工作体験では、創意工夫により素晴らしい芸術作品を仕上げる子供たちも多く、終了時間間際まで、沢山の方々に楽しんでいただけように見受けられました。

神戸水源林整備事務所では、今後もこのようなイベント等の機会を利用して、より広く水源林造成事業への理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。



工作体験は子供が主役



漢字クイズに集まっていた皆様